



2024(令和6)年度 学校だより (令和6年7月19日発行)

# きぬぎむ

栃木県小山市立絹義務教育学校 〒323-0155  
TEL 0285-49-0141 FAX 0285-49-2764  
e-mail kinugimu@oyama-tcg.ed.jp

栃木県小山市大字福良2240番地1

発行者 校長 中島 康成



本日で1学期の学校生活が終了し、明日から44日間の夏休みが始まります。今年は梅雨入りが遅く、暑い日が続きましたが、熱中症や感染症の予防に努めながら、様々な教育活動を予定どおり行うことができました。地域や保護者の皆様にも、様々なご協力をいただきました。ありがとうございます。

7月7日の七夕には、児童生徒会が企画・準備した七夕飾りを東校舎・西校舎それぞれの昇降口に飾りました。児童生徒と職員全員が短冊に願いを込めました。それぞれの願いを実現していけるよう、夏休みを有意義に過ごし、また元気に2学期を迎えられることを願っています。



## ふるさと学習

5月20日に「お迎え式」を行い、1・2年生が大切に育てた蚕が、今年も立派な繭となりました。6月5日に「上簇式」、6月17日に「収繭」を行いました。1・2年生が協力して数えた結果、1749個もありました。大きさは少し小ぶりですが、とても形のよい繭です。今年も、笠間稲荷神社の献穀献繭祭に出品します。

また、7月9日には、細織物技術支援センターにおいて、3年生が「煮繭」「角真綿がけ」を行いました。1・2年生が収繭した繭を大釜で茹で上げたあと、一つずつぬるま湯の中でほぐして、四角い木枠に重ねて伸ばしました。5個の繭で1枚の角真綿ができました。名前を付けて大切に保管し、5年生の「染色」、6年生の「管巻き」「地機織り」に使う予定です。



## 伝統文化ふれあい教室（後期課程）

6月17日、小山市民謡民舞会の皆様を講師にお迎えし、開催しました。この事業は、小山市文化振興課・文化協会の皆様のご協力により、民謡などの伝統芸能について理解を深めるために開いていただいたものです。ソーラン節、花笠音頭などの民謡と、安来節、秋田節の民舞を披露していただき、最後に全員が輪になって、日光和楽踊り、小山音頭を踊りました。コロナ禍で体験が少なくなっていたこともあり、とても新鮮に感じたようでした。



## いじめ防止集会

本校では、6月17日～21日を「いじめ防止強調週間」と位置づけ、小山市の子どもたちが制定した「いじめゼロ宣言」の復唱、個人の「いじめ防止のめあて」の作成、いじめ防止について考える道徳授業の実践、そして「いじめ防止集会」を行いました。

6月21日、全校児童生徒が参加して実施した「いじめ防止集会」では、小山市内の小中義務教育学校の代表が集まり、5月14日に開催された「いじめゼロ子どもサミット」に参加した3名の児童生徒が、内容報告と本校での今後の取り組みについて発表しました。今年はいじめゼロ子どもサミットのテーマは、「多様性を理解し合い、誰もが自分らしく生活できる学校～ちがいを認め合える、いじめのない学校を目指して～」でした。違いを互いに認め合い、自分も仲間も大切にしていこうと改めて心に誓いました。



## 昆虫教室（3年）

6月27日、小山市博物館から来校された2人の先生に、昆虫教室を実施していただきました。たくさんの標本やパネルを持参していただきました。子どもたちは、理科の授業で学習した昆虫の体の仕組みや成長の様子について振り返りながら、興味深くお話を聞き、標本の数々に目を輝かせていました。



## 生き物調査（6年）

7月4日、田んぼの学校実行委員会の皆様、延島地区自治会の皆様、絹地区土地改良区の曾雌様のご協力の下、延島上地区の水路で、生き物調査を実施しました。事前に水路の環境整備をしていただいたお陰で、昨年度よりもたくさん採集することができました。

暑さ対策のために、急遽用意していただいたテントの中で、採集した生物について「めだか里親の会」の中荃様から詳しく説明していただきました。身近な水路に生息する生物でも、知らなかったことがたくさんあり、大変貴重な時間となりました。

暑さの厳しい中、協力していただいた皆様、大変ありがとうございました。



【絹義務教育学校ホームページ】に掲載しています。写真等も鮮明にご覧いただけますので、ぜひご確認ください。

<https://www.city.oyama.tochigi.jp/school/compulsory-school/kinu/>

